

マングローブ林とは

マングローブ林とは生命のゆりかごと言われ、魚介類の産卵場所や稚魚の生育場所となり、多様な生物を育む豊かな生態系を支えたり高波や津波などの自然災害から、沿岸地域やそこに住む人々を自然災害からまもる役割をもっています
周辺地域に水産資源や森林資源を提供することもできます

インドネシアへ行くことになった理由

実はインドネシアのマングローブ林がエビ養殖のため伐採されていたり、抗生物質で汚染されていたりと消滅の危機に瀕しており、マングローブの活動をしてもらうため別の仕事でインドネシアにかかわりを持っていた先生に声がかかった

主な活動内容

マングローブの大切さを現地の人に理解してもらうなど、基本的にインドネシア側からの要請にこたえる形の要請主義をだった。約7年ほどインドネシアにおり、主にバリ島に入りことが多く、だいたい7人ほどの人数で活動をしていた

現地の生活について

食事は現地の料理をたべて、味はおいしく、苦勞しなかった。
言語の壁は最初はあるが生活するうちにわかるようになった、びっくりしたこととしては車の出すスピードがはやく驚愕したがなぜか事故はめったになかった。



小野崎 遼馬